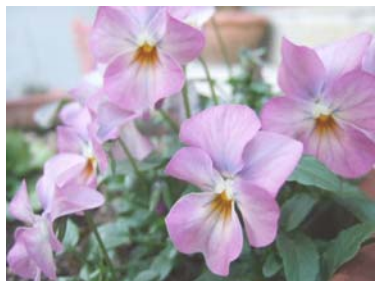


うめ・もも・さくら、春の木の花がつぎつぎと咲いていきます。もうすぐ新学年ですね！ ちょっとがんばらなきゃね！

Newsletter

2007-4 月号

3月は第5週の29日30日が**お休み**となります。



「ツクシュー！」

この冬は暖かったせいか、早くも“いまわしき花粉”が飛び始めたようです。

最近、地球環境の保護・改善

がたびたび話題になってきていますね。日常生活の中でも便利さと引き換えに、知らず知らずのうちに空気や山や川や土の中を破壊してしまっているようです。

それと同じように、人や物をだいじにする気持ちも うっかり忘れてしまわないようにしたいものです。

音楽の中には、そんなだいじな気持ちがいっぱい詰まっています。芸術といわれるものを学ぶことは、自然のしぜんさ、人間のこちよさも体得していくことになります。

音楽の楽しさ・美しさをいっぱい感じて練習してくださいね！

3月は卒業の季節

毎年この時期になると、高校や小学校の卒業式で“卒業の決意”を感じて、私も頑張らなくちゃ！と思います。

4月からはみんなの学年もかわって、私も心機一転！更にパワーアップするので頑張ってついてきてね！

音楽の科学～ハーモニー～

音楽の三要素と呼ばれているリズム・メロディー・ハーモニーの中でメロディーとも密接な関係にあるハーモニーは、日本人の苦手なものの一つと言われています。五音階のメロディーに尺八や三味線の伴奏で親しんだ日本の音楽と、教会などのハーモニー中心に発展していった音楽との、歴史の違いです。

すっかり欧米化した音楽に親しんでいる私たちには、もはや長調・短調の和音の方が身についているのがちょっと皮肉ですね。

陽気な和音をもつ長調は、ドミソから始まりファラド→ソシレなどを經由して、ドミソで終わるのが基本です。

せつない和音をもつ短調は、ラドミから始まりレファラ→ミ#ソシなどを經由して→ラドミで終わるのが基本となります。

これらの仕組みは、先人が作った規則ではなく「音」の中に存在する倍音というものが作用している自然の法則によるものなのです。

岡本芳雄